

2010  
第33号

# 8万

(須賀川市人口79,603人 5月1日現在)  
[前年同月比 △4人]



山頂の城跡

## 松山城址 (木之崎字入大ヶ久保、横田字代官田)

松山城址は、現在の横田集落の北東に位置し、松山と呼ばれる高低差およそ50mの尾根の頂上部に、空堀や土塁を築いて構築された山城で、現在でも当時の空堀跡や土塁跡を見ることができます。

このお城がいつ頃造られたかは記録がなく定かではありませんが、室町時代の終わり頃に、蘆名盛氏がこの城を攻めたことや、松山の地に要害を築いて、眼下に見える横田館（現横田集落）を守る横田氏を攻めたという記録が残されています。



## 不動清水 (大久保字鰻田)

不動清水は、大久保地区と木ノ崎地区を隔てる低い丘陵の北側にひっそりと湧き出しています。

湧水には少量の細かい気泡が混じっていて、気泡の白さが水のきれいさを物語っています。

この地域には多くの湧水が点在していますが、中でも不動清水は街道脇にあることから、往来する人々の休み場として古くから愛されています。

## 米山寺経塚群 (西川字坂ノ上)

国指定史跡である米山寺経塚群は、明治時代に日枝神社を改修する際、境内裏から発見されました。

経塚は10基確認され、中からは11巻の経典や刀子、銅鏡などが出土されました。特に3号経塚からは、経文の他、承安元年(1171年)銘の陶製外筒、青銅製経筒などが出土し、国指定重要文化財となりました。これらの出土品は、現在「岩代米山寺経塚出土品」として博物館に展示されています。

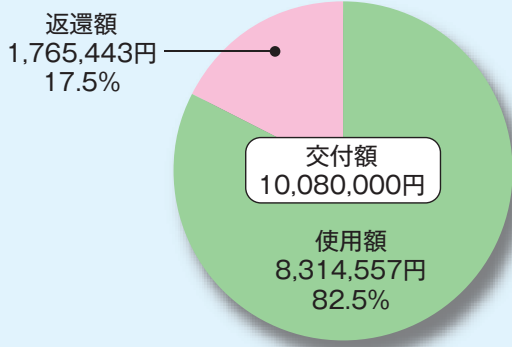


日枝神社境内裏から

## 旧跡発見!

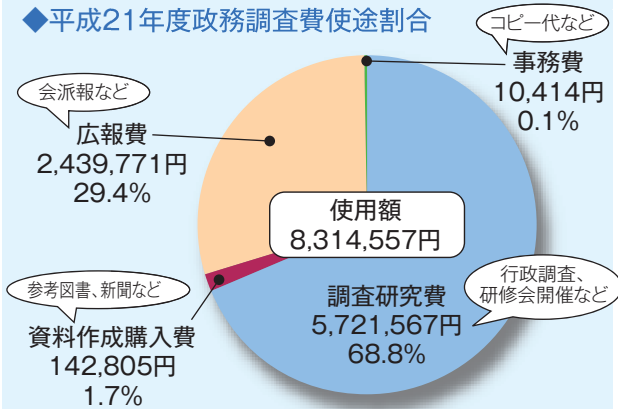
# すかがわ探訪

◆平成21年度政務調査費支出状況



用途は

◆平成21年度政務調査費使用割合



本市では、議員の調査研究に必要な経費の一部として、平成13年度より使用基準を定め、議員一人当たり月額3万円を会派に交付しています。年度末までに支出残額がある場合は、市に返還しています。用途の内容については、その都度領収証と共に行政調査報告書を提出しています。本号では、平成21年度の政務調査費の決算についてお知らせします。

**政務調査費**  
このように使用されています。

平成21年度政務調査費決算一覧表

(単位:円)

会派名	会派構成	※会派への交付額(A)	会派での支出合計(B)	内 訳				収支差引き(A-B) 市への返還額
				調査研究費	資料作成購入費	広報費	事務費	
志政会	佐藤瞭二 関根保良 五十嵐伸 塩田邦平 広瀬吉彦 八木沼久夫 細谷松雄 高橋秀勝 大内康司 (H21.6.1加入)	3,180,000	2,996,073	2,653,516	12,000	327,600	2,957	183,927
新政クラブ	塩田和幸 村山廣嗣 大越 彰 相楽健雄 生田目進 加藤和記 市村喜雄 鈴木忠夫	2,880,000	2,179,251	1,669,191	0	506,625	3,435	700,749
明政会	桐生傳一 鈴木正勝 渡辺忠次 (大内康司 H21.6.1脱会)	1,140,000	886,200	552,672	31,260	299,250	3,018	253,800
市民連合	水野敏夫 大倉雅志 菊地忠男	1,080,000	1,080,000	717,881	0	361,623	496	0
日本共産党市議団	橋本健二 丸本由美子	720,000	717,922	4,000	85,330	628,380	212	2,078
洗心	森 新男	360,000	0	0	0	0	0	360,000
須賀川市民ネットワーク	鈴木公成	360,000	323,013	0	6,720	316,293	0	36,987
市政・花の会	川田伍子	360,000	132,098	124,307	7,495	0	296	227,902
<b>合計</b>	<b>8会派 28人</b>	<b>10,080,000</b>	<b>8,314,557</b>	<b>5,721,567</b>	<b>142,805</b>	<b>2,439,771</b>	<b>10,414</b>	<b>1,765,443</b>
構成比		100.0%	82.5%	—	—	—	—	17.5%
支出額の構成比			100.0%	68.8%	1.7%	29.4%	0.1%	

の4会派は、政務調査費交付に限り認められている会派名  
政務調査費 28人×30,000円×12か月=10,080,000円

平成21年度会派行政調査・研修会一覧

会派名	期日	参加者	調査・研修先	調査・研修内容
志政会	H21.6.24 ～26	8	北海道江別市 北海道稚内市	江別の顔づくり事業 やさいクラブ
	H21.7.7～8	7	市町村職員中央研修所 (市町村アカデミー)	講習
	H21.10.29	9	経済産業省	新エネルギー 現在の取り組み状況と今後の展開について
	H21.11.11 ～13	9	北海道恵庭市 北海道北見市	読書コミュニティの構築 住宅用太陽光発電
	H22.2.1 ～2	8	栃木県茂木町（美土里館） 茨城県水戸市（森のシェーブル館）	美土里館の運営 水戸市農業公社の取り組み
			ほか5か所	
新政クラブ	H21.4.3	8	須賀川市 (総合福祉センター)	本市の歴史と史跡の観光活用
	H21.4.23	7	千葉県山武市 千葉県我孫子市	農産物の生産技術 将来のエネルギー
	H21.7.7 ～10	8	愛知県豊橋市 長野県飯田市、長野市	議会運営、飯田市自治基本条例 市民公益活動促進のための基本方針
	H22.1.23	8	須賀川市 (長沼公民館)	新生公立岩瀬病院の目指す方向
			ほか4か所	
明政会	H21.10.19 ～21	3	京都府京丹後市 岡山県津山市	岩木宮農組合、農業農村振興ビジョンと地区活性化計画 つやま新産業創出機構、つやま産業塾
	H22.2.1 ～4	3	北海道長沼町 北海道石狩市 北海道北広島市 北海道江別市	グリーンツーリズム及び農業全般 自治基本条例 政策評価 市民協働のまちづくり
			ほか2か所	
市民連合	H21.5.25 ～27	3	鹿児島県指宿市、鹿屋市、霧島市	提案公募型補助事業、定住自律圏構想、 指定管理者制度、企業誘致対策
	H21.11.18 ～20	3	兵庫県尼崎市 愛知県碧南市	公契約条例 環境宣言
			ほか2か所	
市政・花の会	H21.4.11 ～12		群馬県高崎市	第5回 全国女性議員サミットINぐんま
			ほか2か所	

会派報一覧

会派名	会派報	内 容
志政会	志政会だより	平成21年5月31日発行 25,000部 会派の基本方針・重点課題、所属議員の所信表明など
新政クラブ	新政クラブだより	平成22年1月20日発行 25,000部 会派調査研修報告など
明政会	明政会だより	平成22年3月29日発行 25,000部 会派の動き、所属議員の所信表明など
市民連合	市政報告「あすなる」	7月発行 一般質問概要、大型プロジェクトの見直しなど
	議会報告「しぎかい」 議会報告「道」	1月発行 一般質問概要、所属常任委員会の活動報告など
日本共産党 市議団	日本共産党 市議会だより	4月発行 一般質問概要、新年度予算など 7月発行 一般質問概要、大型プロジェクトの見直しなど 11月発行 一般質問概要、決算審査など 1月発行 一般質問概要、労働・生活相談会など
	議会レポート かけある記	所属議員による活動レポート 毎週1回発行 265号～305号 (各号1000枚)
須賀川市民 ネットワーク	須賀川政治新聞	7月発行 経済危機特集など 1月発行 須賀川市満足度調査など

# 会派の活動報告

各会派の活動についてお知らせします。

## 志政会

会派結成以来、私達は目標を実現するため、積極的に市民の幸せ実現のために活動をしています。

### ① 新エネルギーについて

昨年の10月に、全国で取り組まれているこれからの環境に優しい新エネルギーについて、経済産業省の担当者から「新エネルギー政策の新たな展開について」の講習を受けてきました。

11月には、実際に北見市にて行われている住宅用太陽光発電システムについての現地を視察してきました。

### ② 農業振興について

今年の2月には、本市の基幹産業でもある農業関係で、栃木県茂木町での自治体独自の堆肥づくりや、水戸市では本市でも期待される農業開発公社の取り組みについての先進地視察をしてきました。

### ③ 二地域居住の促進について

### ④ 空港の利活用について



北見市役所にて

本市でも課題として取り上げている二地域居住の促進や、福島空港の利活用と今後について、県商工労働部からの現状とこれからの取り組みについて説明を受け、意見交換してきました。

視察研修した情報を収集し、市当局への働きかけ及び市民の理解を求める活動を推進していきます。

今後も会派活動について、一致団結し市政発展のため、市民目線で役立つ活動をしていきます。

## 新政クラブ

新政クラブは、新たな変革期を迎えて、多様化する行政課題を真摯に受け止め、財政の健全化と効率的な行政運営を求めながら、市民の負託に応えるため「市民目線」による政策提言を行ってまいります。

特に、将来「負の遺産」を残さない財政運営を検証するなど、行政評価の活用による議会改革に取り組む、安全で安心して暮らせる須賀川市の創造を目指し、議会の本質である二元代表制の機能を生かすため、多くの行政課題に取り組んでいます。

本年1月には、市民の声を市政に反映するため、長沼地域を対象に「地域コミュニティ勉強会」を開催し、公立岩瀬病院の三浦純一先生（現在は副院長）を招き、新生公立岩瀬病院の目指す方向と健康的な身体を維持するための日常生活の過ごし方について、勉強会を開催しました。

当日は、28名の市民が出席し、

熱心にメモを取るなど真剣に耳を傾けていました。

さらに3月には、上小山田地域の市民を対象に開催し、58名が出席し、新生公立岩瀬病院が地域医療の中核病院としてどのような方向を目指しているのか、わかりやすく講義を頂きました。

新政クラブとして、初めての試みではありましたが、公立岩瀬病院に対する期待の大きさと行政に理解を深めるための絶好の機会となりました。



長沼公民館研修室にて

## 明政会

これまでの行政調査について報告します。

10月19～21日

京丹後市では、(株)丹後岩木ファームの、地元営農組合と農地及び農業機械の利用調整等による、計画的な農作業の状況調査

津山市では、つやま新産業創出機構の、農業の開発・生産・加工・販売への一体的な取り組み状況の調査

10月30日

東京都内で、「二元代表制を機能させる議会改革」シンポジウムの研修

2月1～4日

北海道長沼町では、農業体験型学習受入が毎年増加している状況の調査

石狩市では、公募市民による市民会議の条例策定経過の調査

北広島市では、外部評価委員会による評価手法などについての調査

江別市では、1500の市民活動団体などの活動状況の調査



阿蘇市役所にて

3月26日

本市会議室で、議会における行政評価活用の研修

4月22～24日

阿蘇市では、全国初の草木系バイオマスエネルギー化事業について、概要・成果・今後の計画の調査

上天草市では、まちづくり委員会による実施状況の調査

## 市民連合

「市民のしあわせ実現」のため、効率的で質の高い行政サービスができるよう十分にチェックをして、予算・決算については党派として事前に内容の審査検討を行い、委員会に臨んでいます。

また、制度政策実現のために、15年前から『予算要望』として、その時代の問題点や将来にわたる課題について、議論を深め検討を加え、要望書として提出しています。

さらに、国県の課題については、連合福島政治政策フォーラムに所属し、国会・県会議員と連携を図りながら市民の幸せにつながる活動を行っています。

具体的には、景気の悪化による雇用対策や、指定管理者制度のあり方、後期高齢者医療制度、地域コミュニティのあり方等の多くの課題があります。

特に、働きがいのあるまちづくりと快適生活環境を醸成するために、地域の人たちの声を大



御前崎市役所にて

切にすると同時に、経営者や働く仲間の声を反映させる政策実現のための研修・研鑽を重ね活動しています。

これらの活動について、毎年2回市民連合として「議会報告」でお知らせしておりますので、今後もわかりやすい紙面構成に努力しながら発行を継続していきます。

市議会には会派に属さない（無会派）議員が5名います。次の4つは政務調査費支給に限って認めている会派です。

## 日本共産党市議団

共産党市議団は、「住民こそ主人公」の立場から、大規模開発中心の市政から、市民のくらしと福祉を応援する市政にかえるよう求めがんばってきました。

この間、テクニカルリサーチガーデン整備事業の見直しや、今出ダム建設中止、子ども医療費無料化年齢引き上げ、デマンドタクシー運行など、市民の要求実現に取り組みました。

これからも市民の皆さんと力を合わせ、お年よりから子どもたちまで市民の安心と安全を提供する市政をめざして精進します。

## 洗心

市民の皆様、日頃の議会活動に温かいご理解ご協力を賜わり、深く感謝申し上げます。

さて、私も平成15年に初当選をさせていただき市政に関わって8年目となりました。

初当選以来、市政の原点は市民生活の安定と向上にある、との信念のもと是非々の立場で行政、議会のあるべき姿を求め行動して参りました。

しかし、市政の現状は益々厳しさを増しており、より一層の行財政改革を推進すべく市民目線で取り組みます。

## 須賀川市民ネットワーク

須賀川市民ネットワークでは、「市民感覚での行政のチェックと改善」を基本理念として活動を行っています。

「なぜ市民の要望が実現されないのか」、「なぜこのような税金の使い方がなされるのか」といった疑問を行政に対して問題提起し、個別の問題解決に取り組むことはもちろん、将来にわたって問題が起きないよう、制度設計の面でも改善に向けた調査研究を行っています。

近所の道路舗装などの身近な問題から、持続可能な財政運営の実現まで、幅広く活動しています。

## 市政・花の会

○全国女性議員サミット参加  
市政・花の会は、昨年4月11日と12日群馬県で開催された全国女性議員サミットに参加しました。一日目は、超党派国会議員7名によるシンポジウム、二日目は、「市民と行政の協働によるまちづくり」など6つの分科会で女性参画の重要性を再認識しました。

○二元代表制・議会改革シンポジウム  
10月30日東京都内にて参加しました。

○合同研修（新政クラブと）  
11月4日から6日まで、夕張郡長沼町を敬訪問したほか、砂川市神内ファーム21の近代的農場経営、栗山町の議会基本条例制定の視察研修をしてきました。

調査研修を糧に議員の役割と責任を果たすべく職責に努めていきます。



# 6月定例会のお知らせ

会期運営予定表

月日	会議の内容
6月3日(木) (ライブ中継)	<b>本 会 議</b>
	会 期 の 決 定
	会議録署名議員の指名
4日(金)	全議案一括上程
	議案調査
5日(土)	休 会
6日(日)	休 会
7日(月)	議案調査
8日(火) (ライブ中継)	<b>本 会 議</b>
	一 般 質 問
9日(水) (ライブ中継)	<b>本 会 議</b>
	一 般 質 問
10日(木) (ライブ中継)	<b>本 会 議</b>
	一 般 質 問
	議案に対する総括質疑 議員提出議案/意見書案/決議案の提案と質疑 議案、請願の委員会付託
11日(金)	<b>委 員 会</b>
	総務常任委員会 建設水道常任委員会
12日(土)	休 会
13日(日)	休 会
14日(月)	<b>委 員 会</b>
	生活産業常任委員会 教育福祉常任委員会
15日(火)	<b>委 員 会</b>
16日(水)	予 算 委 員 会 事務整理
17日(木) (ライブ中継)	<b>本 会 議</b>
	委員会付託議案(委員長報告)の質疑と採決 議員提出議案/意見書案/決議案の提案と採決 請願(委員長報告)の質疑と採決 継続調査事件の申し出(委員長報告)

ここで正式に会期が決定します。

市長と副市長、または議員から提案理由などの説明があります。

各議員から、市政全般の中で特に聞きたい部分について、当局に対して質問を行います。

初日に一括上程された議案について、質疑を行います。

各委員会では、本会議で付託された議案や請願の審査を行います。

各委員会での審査結果の報告と採決を行います。

※日程は、都合により変更になる場合もあります。

## 提出案件

6月定例会に提出される主な案件は次のとおりです。

### ○単行議案

- ・須賀川市税条例の一部を改正する条例
  - ・須賀川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ほか3件

### ○予算

- ・平成22年度須賀川市一般会計補正予算(第1号)
  - ・平成22年度須賀川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- ほか1件

### ○報告

- ・平成21年度財団法人須賀川市農業開発公社決算について
  - ・平成21年度郡山地方土地開発公社決算について
- ほか4件

### 議会傍聴してみませんか。

本会議と委員会は、開催日に市役所4階で、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも自由に傍聴できます。一般質問の日は、市役所4階に臨時傍聴席も設けています。また、インターネットで本会議の様子をライブ中継していますので、ご覧ください。

議会初日には、市長から議案の提案理由説明があります。また、6月8日、9日、10日には、一般質問がありますので、お出かけください。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

**☎88-9162 (直通) 議事係**

議会は、午前10時開会の予定です。

本会議のライブ中継と一般質問の通告内容、過去の会議録などは、市のホームページでご覧いただけます。(http://www.city.sukagawa.fukushima.jp)

# 市議会教室



## 政務調査費の使途基準

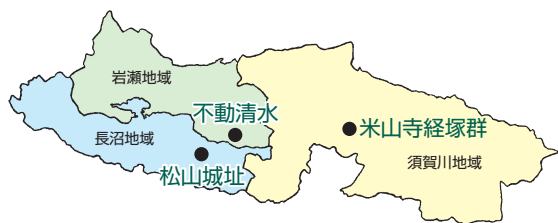
本号では、平成21年度の決算状況を特集しましたが、その使い方の基準についてお知らせします。

各項目において、支出できるもの、支出できないものを規定し、適正な支出に努めています。

使い方の基準は下表のとおりです。

項目	支出できるもの	支出できないもの
調査研究費	研究会・研修会などの開催費用 先進地調査・研修会参加旅費など	政党活動・選挙活動に伴う経費 昼食代・宴会・懇親会費など
資料作成購入費	参考図書・新聞代など	政党で発行する新聞代 商品券・図書券など
広報費	広報紙発行代など	党発行の機関誌・広告代 後援会報の印刷代など
事務費	備品のレンタル料 事務用消耗品など	交際費(慶弔費・寄付金・広告料・電報代) 党費 備品(パソコン・カメラ等)の購入費など

表紙の「旧跡発見！」の位置図



委員 長 生田 目 進  
 副委員長 関根 保 良  
 委員 鈴木 公 成  
 五十嵐 伸  
 相楽 健 雄  
 加藤 和 記  
 鈴木 正 勝  
 菊地 忠 男  
 // // // //

### 議会広報委員会

第31号の表紙写真の中で、笠ヶ森の表示に誤りがありましたので、おわびして訂正いたします。

本号では、特集として政務調査費についてお知らせしました。

会派活動は、行政視察や研修などを行い、先進地の事例などを踏まえ行政に反映させ、市政発展のため議員一丸となって取り組んでいます。

さて、今年は春先から天候不順が続き、専門家によりますと、西暦1980年と1993年に天候が類似し、冷夏冷害が心配されています。

ようやく田植えも終わり農作業も一段落したところですが、異常気象のもと農作物の管理には充分注意して、実りある秋を迎えられることを願っています。

### 編集後記